

「郷土の偉人」にスポット



児童文学・小説・漫画の3点

洪水防ぐため岩山くりぬいた周藤弥兵衛

育成に結び付ける。

HNS研究所は、水処理装置な

ど制御機器製造の小松電機産業

郷土の偉人にスポット。HNS(人間・自然・科学)研究所(島根県八雲村、小松昭夫社長)

(松江市、小松昭夫代表)は、江が設立。同社の研究開発、人材育

戸時代に四十二年かけて岩山を削成、社会貢献を担当している。活

人材育成の「刺激剤」

HNS研究所

小説・児童文学・漫画を出版

り、切の通しを開いた周藤弥兵衛を紹介する小説、児童文学、漫画を同時に出版した。郷土のために生涯をささげた先人の足跡をたどる

ることによって、町おこしや人材

動の一環として地域の「人と水」

をテーマにした出版を続ける予定

で、全国の自治体などに「郷土の

偉人」の再発見を働き掛ける。先

人の活動を小説、児童文学、漫画

の三点セットで紹介することで、活字離れが言われる子供たちに読書の機会を提供する。

周藤弥兵衛は出雲の国日吉村(現在の八雲村)の下郡(大庄屋)で、洪水を繰り返す意宇川の流れ

を変えるため、五十六歳から岩山

をくりぬく作業に入り、一七四七

年、九十七歳で切の通しを完成。

菊池寛の「恩讐の彼方に」で知ら

れる「青の洞門」に先立つ事業と

される。本の価格は小説千四百円、

児童文学と漫画がそれぞれ千三百

円。